

（国際理解教育）学習指導（活動）案

【実践者】

氏名 加瀬 利憲

学校名 北海道中標津支援学校

学年（人数） 1 学年 25 名

実施教科（領域） 生活単元学習

【関連する SDG s】（ 1 ・ 4 ・ 5 ・ 8 ・ 9 ・ 12 ）



【実施概要】

1. 単元名（活動名）：

仕事をするって何だろう。～ワーク イン ライフ～

2. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：

自分の身近な風景・施設・経済活動をキルギス共和国と比べて、共通点や相違点について考える。SDG s と関連させて多様な社会を知り、自分の学校生活や進路意識とつなげる。

3. 単元計画（全 3 時間）

時	ねらい	学習活動	資料など
1	キルギスについて理解する。	・ 国や視察先、協力隊員の活動紹介。 ・ 通貨の計算から外国を知る。	パワーポイント ワークシート
2	日本とキルギスの相違点や共通点を理解する。	・ 様々な写真で日本とキルギスを比較。 ・ 写真の人へグループで質問づくり。	写真資料 ワークシート
3 (本時)	生活、文化は違っても「働く」目的は私たちと同じであるということ理解する。	・ 質問の発表と回答を考える。 ・ 教師の回答から自分の学校生活を結びつける。	パワーポイント ワークシート 写真資料

4. 本時の展開（ 45 分 ）

本時のねらい：生活、文化は違っても「働く」目的や姿勢は私たちと同じであるということを理解する。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (10 分)	・ 前時の振り返り ①写真から見た日本とキルギスの相違点や共通点を各グループから発表する。 【風景、街並み、学校、料理、車、人】 【SDGs の目標のおさらい】 ②写真の人にどのようなことを質問したい？の活動状況を確認する。	25 名を 4 グループに分ける。 質問と SDGs の目標をリンクさせる。	パワーポイント ワークシート 質問対象者の写真

展開 (25 分)	【バザールの店員 1 名、24 番学校生徒 1 名、OVOP ワークショップ 2 名 以上 4 名】 ③本時の計画の説明 - 各グループから質問内容を発表する。 - 必ず SDGs の目標と合わせて作成する。 発問 1：各グループで作成した質問を発表しましょう。	ワークシートを全て記入できなくても良い。 質問は各 1 つとする。	
まとめ (10 分)	【予想される反応として】 前時の学習において、地方では仕事が少ない、キルギス人は相手を思いやる民族である、楽しく仕事をしている現状を考察して、SDGs17 の目標を関連させて質問が作成できることを期待する。 発問 2：次は各グループで、この写真の人たちの回答を考えてみましょう。 【予想される反応として】 学校生活で身に付けた考えや行動を投影した回答を期待する。 発問 3：各グループで作成した回答を発表しましょう。 現地の OVOP で取材した質問と回答を紹介する。 「どのような想いでこの仕事に取り組んでいますか？」 「時間や手間がかかっているので、大切に使ってくれる人が買ってくれるかなと想像しながら作っています。」 「誇りを持って仕事をしています。」 この回答から得られることとしては、生活、文化は違っていても「働く」目的や姿勢は私たちと同じだということです。これを持続可能な社会といいます。 そして、単に製品をつくるのではなく、買ってくれる人のことを思って丁寧につくることは、遠くの国の人でも私たちと同じであるということが分かりました。	ワークシートに記入。 ワークシートでは穴埋め式でまとめを記入する。	質問対象者の写真入。 パワーポイントで OVOP の写真を出す

	普段、みなさんが作業学習で製品をつくっているときの考えや思いと同じです。日本は思いやりの国と言われていますが、日本だけではなく様々な国の人々が同じ思いで様々な仕事をしているのです。 仕事をすることは生きる目標にもなり地域貢献にもなっています。 これからも私たちの住んでいる街が将来にわたって元気であるためには、みんなが元気に仕事をする事だと先生は思います。	ワークシートを回収。	
5. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ・SDGs17 の目標と関連させて質問を作成することができる。 ・学校生活で身に付けた考えや行動を投影した回答を考えることができる。 ・国際理解に必要な他者理解はロールプレイが妥当であるが、生徒の特性上を鑑み「質問と回答の作成」に置き換えて評価する。			

【参考資料】

資料および外部との連携

- ・特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編（高等部） 文部科学省

【自己評価】

苦勞した点	■生徒の対話する力を養うためには、「聞くこと」「質問をすること」「自分の意見を述べること」「非言語コミュニケーション（言葉だけではなく写真・絵やジェスチャーなど）」「トピックの選択」を意識することが重要である。 ■「トピックの選択」はキルギスの異文化を理解することを柱とした。「非言語コミュニケーション」で日本との写真を比較してキルギスの現状を学んだ後に授業テーマである「質問をすること」を思考した。次に、グループワークで「聞くこと」「自分の意見を述べること」を実践してグループ内の意見をまとめて発表し、教師からの総括をさらに「聞くこと」で単元を完結させた。グループワークは様々な教科で実践しているので生徒は馴れているが、「トピックの選択」の部分で「質問をすること」を活かすための工夫が苦勞した。また、授業で使用する比較写真については、同じ画角のものを選定した。
改善点	■「質問をすること」のワークシートにおいて、写真1と写真3は現在のことについての質問を求め、写真2は将来のことについての質問を求めてしまっていたので、時間軸を揃えた方が取り掛かりやすかったのではないかと考察している。また、アドバイザーからは、写真の登場人物に名前・年齢・趣味などを付けて、その登場人物にこれから質問をしてもらうという予告をしてから、国の紹介をすると臨場感がでるとの助言をもらっている。

成果が出た点	■生徒たち自身が、普段の作業学習で指導されていること（製品を作るときに込める想い、責任感、働きがい）が質問という形で出てきた点が大きな成果である。 ■進路学習・作業学習で身に付けた力が教科横断的に出てくるような仕掛けを作ったが、生徒は自分に置き換えて思考を深めて、授業中に何度も大きく頷いていたので教師と生徒が双方向で予想以上に共感できる内容であった。
学びの軌跡 （児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等）	■生徒それぞれの活動やグループワークで出てきた質問や回答は、ワークシートに追記しているが、質問とSDGsの番号の紐づけがしっかりできていた。SDGsについては他の教科でも学習しており、関連付けて思考ができていた。
授業者による自由記述	■この授業では「質問」と「回答」というツールを使って職業観を思考して進路意識を醸成する活動にした。質問するときの人の思考回路としては、「自分の気持ちを言語化する」という大切なスキルが必要になる。これをSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）といい、社会で人と人とが関わりながら生きていくために欠かせないスキルである。 ■この授業での評価の観点としては「SDGs 17の目標と関連させて質問を作成することができる。」「学校生活で身に付けた考えや行動を投影した回答を考えることができる。」「国際理解に必要な他者理解はロールプレイが妥当であるが、生徒の特性上を鑑み「質問と回答の作成」に置き換えて評価する。」としている。 ■模擬授業やオンラインセミナーではたくさんの意見やアドバイスをもらったが、対象生徒の特性や仕掛けの効果、評価方法を最も理解しているのは授業者なので、アドバイスを精査して自分の授業に反映させる強い考えが必要である。
次年度以降の取組予定	■特別支援学校は、言語による国際理解は難しい。今回のように生活に密着していて、自分の事と置き換えて思考できる教材が抵抗なく取り組める。次年度は他の学年でもこの授業を実践して、教材開発を深めたい。

(前時に使用したワークシート①)

月 日 科 なまえ_____

【個人用プリント】

2時間目の授業 「しごとをするって何だろう」

■今日の授業のグループは学科ごとです

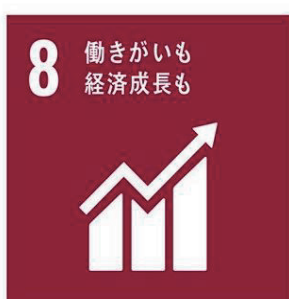
- 1 キルギス共和国はどこにある？
- 2 様々な写真を見てキルギスと日本を比べてみよう。

今から配るプリントを見てみよう。

- 3 写真の人へ質問をつくろう！

ーきまりー

- ② グループの司会者と発表者2名を決めること。
- ② 下のSDGsの1・4・5・8・9・12のどれか1つ以上をつかって質問をつくること。
- ③ 1つの写真に1つの質問をつくること。赤い線で囲まれた人への質問にすること。
- ④ 写真と一緒に書かれている言葉を参考にすること。
- ⑤ 普段の作業学習や進路学習を思い出して、「仕事」をテーマにつくること。



(前時に使用したワークシート②)

おも しゃしん にほん キルギスだと思ふ写真に① 日本だと

あ

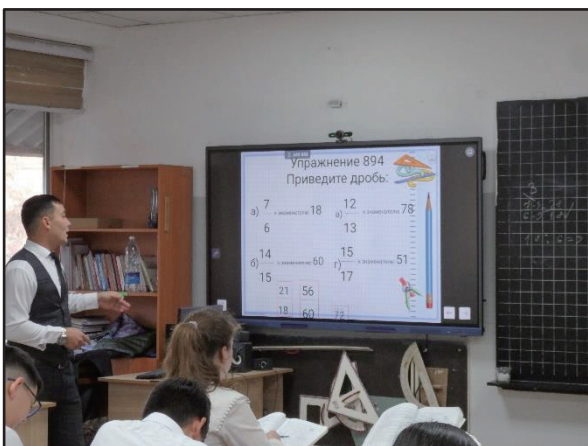


【 】



【 】

う



【 】



【 】

お



【 】



【 】

(前時に使用したワークシート②)

おも しゃしん
思う写真に② をかこう！

い



【 】



【 】

え



【 】



【 】

か



【 】



【 】

(前時に使用したワークシート③)

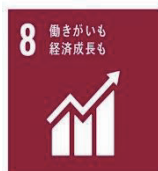
写真1 ^{しゃしん} バザールで ^{はたら}働いている ^{ひと}人です。

^{ひつじ} 羊 ^{うま} や ^{にく} 馬の肉を ^う売って ^{せいかつ}生活をしています。

とても ^{おお}大きな ^{こえ}声で ^{げんき}元気いっばいで ^う売っていました。



^{かんが}考えた SDGs
に○を付けよう



^{しつもん}質問：()の中は選んだ SDGs

- ・生活はきついですか？(8)
- ・給料はいくらですか？(8)
- ・1日でどのくらいの量の肉が売れますか？(8)
- ・売っているときに、これは責任だなんて思うことは何ですか？(12)
- ・この仕事で責任を感じるときややってみたい仕事は何ですか？(12)
- ・この仕事以外でしたいことはなんですか？(8)
- ・羊や馬の肉を売るまでの間にかかるコストで工夫しているところは何ですか？(9)
- ・肉の質がどのくらい悪くなったら廃棄するのですか？(12)
- ・仕事をしていて責任感とか大変さがありますか？(12)
- ・いま働いていてうれしかったこととこれからの仕事での夢を教えてください。(8)
- ・仕事をしていて幸せって思う時は？(8)
- ・仕事に出たときに身に付けて欲しい力はなんですか？(8)
- ・衛生面について気をつけていることは何ですか？(12)
- ・何のお肉を買って欲しいですか？(9)
- ・働くときに必ず意識していることはありますか？(8)
- ・肉を無駄に使わないようにどうやって切っているんですか？(12)

枠内の回答は、授業時に
生徒さんから出た回答です。

(前時に使用したワークシート③)

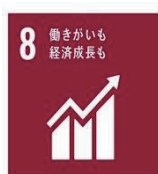
写真2 ^{しゃしん} しょうがっこう ^{かよ} せいと
小学校に通う生徒です。

^{べんきょう} ^{さんすう} ^す ^{まいにち} ^{がっこう} ^{たの}
勉強は算数が好きで、毎日の学校が楽しいそうです。



^{かんが}
考えた SDGs

に○を付けよう



^{しつもん}
質問：() の中は選んだ SDGs

- 他に好きな教科はありますか？ (4)
- 学校で楽しいことはなんですか？ (4)
- 学校で1番頑張っていることは何ですか？ (4)
- 人と仲良く何を大切にしているんですか？ (4)
- 今はできないけれどできたら何の勉強がやりたいですか？ (4)
- キルギスの学校に休み時間がありますか？ (4)

枠内の回答は、授業時に
生徒さんから出た回答です。

（前時に使用したワークシート③）

写真3 シャシん ちい まち じょせい
小さな街ではたらく女性たちです。

いなか しこと すく
田舎では仕事が少ないようです。

まいにちしこと かんしゃ
毎日仕事があることを感謝しているとのこと。

みんな しんけん しこと
みんな真剣に仕事をしていました。

この製品は せいひん ひつじ け つく にほん むじろしりょうひん はんぱい
この製品は 羊 の毛で作られていて、日本では無印良品で販売しています。



かんが
考えた SDGs

に〇を付けよう



しつもん
質問：（ ）の中は選んだ SDGs

- 毎日の仕事は楽しいですか？（8）
- 働きがいはなんですか？（8 9）
- 田舎では何か楽しいことはありますか？（1）
- どんな仕事をしてみたいですか？（8）
- 仕事が少ない田舎の人たちはどうやって仕事をしているんですか？（1）
- 使わなくなった材料で製品を作ったりしますか？（1 2）
- 仕事をしている中でうれしかった事は何ですか？（8）
- 働くのに人でとか足りているのか？（1）
- 配送はどのように行っていますか？（8）
- 不安な時はどうしていますか？（8）
- 今もこの仕事は楽しいですか？（9）

枠内の回答は、授業時に
生徒さんから出た回答です。

(本時のワークシート①)

月 日 科 なまえ _____
3時間目の授業 「しごとをするって何だろう」

■ ふりかえり

(1) 写真で見たキルギスと日本の違い

→どのような違いがありましたか？

(2) つくった質問の確認

→質問はつくれましたか？

1 つくった質問を発表します。グループ内で1つずつ選んでグループ用プリントに書いてください。

→発表者の生徒お願いします。

2 回答の作成

グループで選んだ質問に対する回答を作ってください。

3 グループで作成した回答を発表します。

→発表者の生徒お願いします。

4 実際にインタビューしてきた質問と回答の説明

5 先生とのまとめ

インタビューの回答から考えられることとしては、
生活・文化は違っていても「(働く)」目的や姿勢は私たちと(同じ)だということです。
これを(持続可能)な社会といいます。

ただ製品をつくるのではなく、買ってくれる人のことを思って(丁寧)につくることは、遠く
の国の人でも私たちと(同じ)であるということが分かりました。
普段、みなさんが作業学習で製品をつくっているときの考えや思いと(同じ)です。日本は
思いやりの国と言われていますが、日本だけではなく様々な国の人々が同じ思いで様々な仕事をして
いるのです。

仕事をすることは生きる目標にもなり(地域貢献)にもなっています。
これからも私たちの住んでいる街が将来にわたって元気であるためには、
みんなが元気に(仕事)をすることなのです。

（本時のワークシート②）

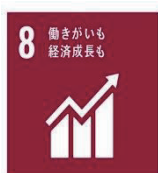
【グループ用プリント】

【学科名： 】

写真1 ^{しゃしん} バザールで ^{はたら} 働いている人です。
^{ひつじ} 羊 ^{うま} や ^{にく} 馬の肉を ^う 売って ^{せいかつ} 生活をしています。
とても ^{おお} 大きな声で ^{こえ} 元気 ^{げんき} いっぱいで ^う 売っていました。



^{かんが} 考えたSDGs
に○を付けよう



^{しつもん} 質問：この仕事で責任を感じる時や、やってみたい仕事は何ですか？

（窯業科 SDGs 8）

働く時に必ず意識していることはありますか？

（家庭総合科 SDGs 8）

^{かいとう} 回答：この仕事はお客さんに喜んでもらう仕事で、責任を頑張りながら楽しむ仕事です。（窯業科）

衛生面に気をつけています。（家庭総合科）

枠内の質問・回答は、実際の授業時に生徒さんから出た質問・回答です。

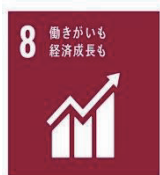
(本時のワークシート②)

写真2 しょうがっこう 小学校に通う生徒です。

べんきょう 勉強は算数が好きで、まいにち 毎日の学校が楽しいそうです。



かんが
考えた SDGs
に○を付けよう



しつもん
質問：いつもどんな授業をしていますか？（園芸科 SDGs 4）

かいとう
回答：国語、音楽、算数、体力づくり、作業学習をしています。（園芸科）

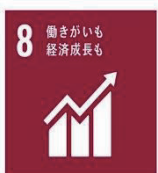
枠内の質問・回答は、実際の授業時に生徒さんから出た質問・回答です。

(本時のワークシート②)

写真3 しゃしん 小さな街ではたらく女性たちです。
いな 田舎では仕事が少ないようです。
まいにち 毎日仕事があることを感謝かんしゃしているとのこと。
みんな みんな真剣しんけんに仕事をしていました。
せいひん この製品は羊ひつじの毛けで作られていて、日本では無印良品むじるしりょうひん はんぱいで販売しています。



かんが
 考えた SDGs
 に○を付けよう

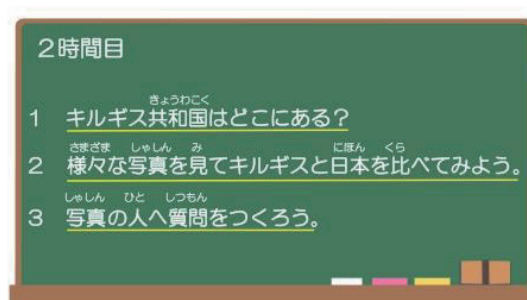


しつもん
 質問：働きがいは何ですか？（木工科 SDGs 8）

かいとう
 回答：感謝されたときです。（木工科）

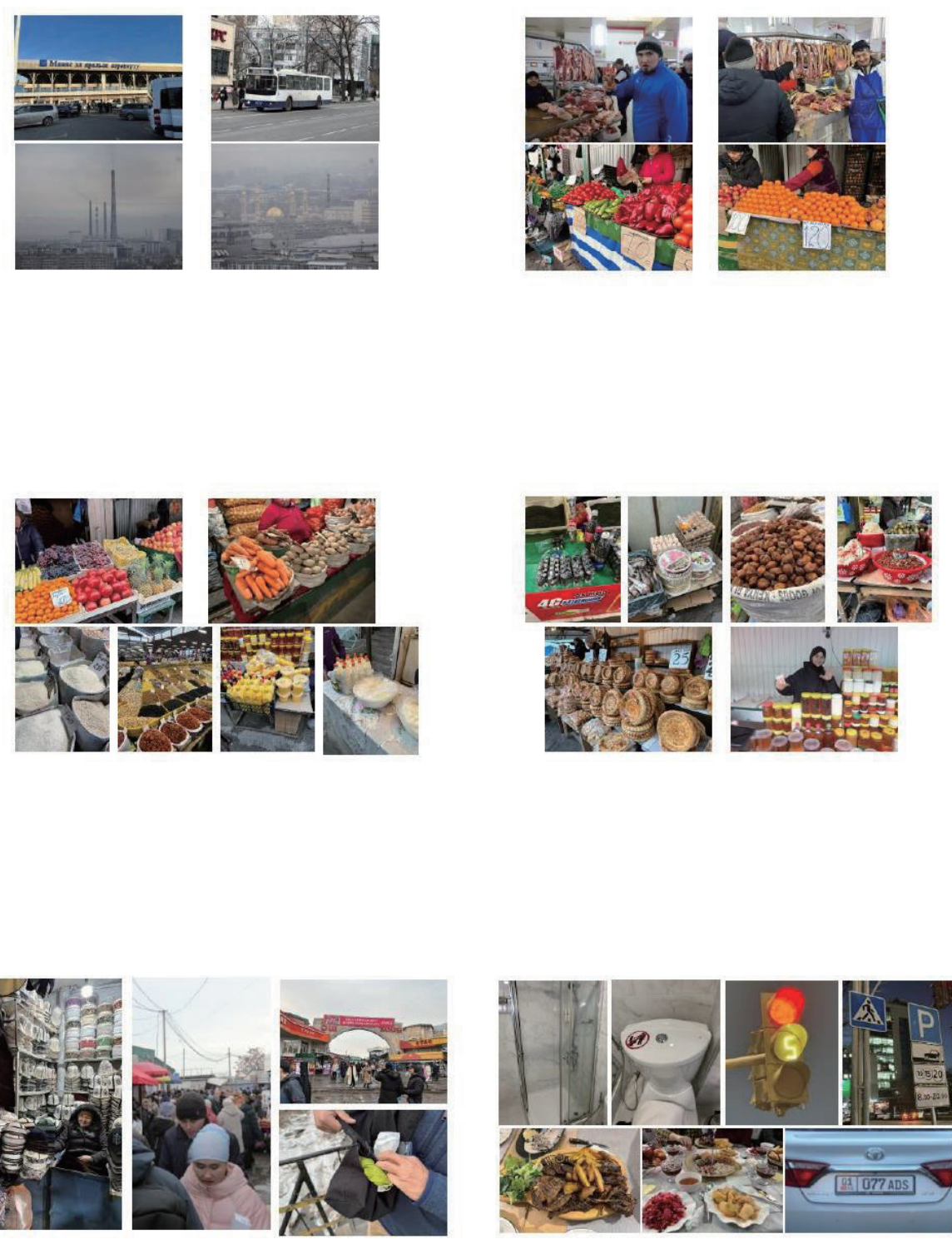
枠内の質問・回答は、実際の授業時に生徒さんから出た質問・回答です。

(授業進行の Powerpoint 資料)



- 【キルギス共和国データ】
- ・めんせきは日本のやくはんぶん
 - ・じんこうは日本の19分の1
 - ・つうかはソム (1ソム=1.6円)
 - ・じさは-3時間
 - ・しゅうぎょうはイスラム教 (スンニ派) ロシア正教など
 - ・コンセントプラグはCタイプ







しゃん み にん くら
 2 写真を見てキルギスと日本を比べてみました。

キルギスだと撮った写真に① 日本だと撮った写真に②

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫

どのような
 ちがいが
 ありましたか？

おち シャしん
キルギスだと思う写真に①

おち シャしん
日本だと思う写真に② をかこう！



おち シャしん
キルギスだと思う写真に①

おち シャしん
日本だと思う写真に② をかこう！



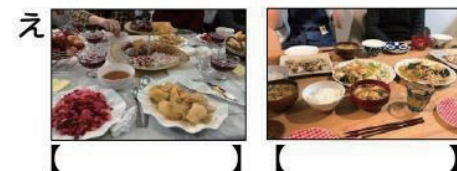
おち シャしん
キルギスだと思う写真に①

おち シャしん
日本だと思う写真に② をかこう！



おち シャしん
キルギスだと思う写真に①

おち シャしん
日本だと思う写真に② をかこう！



おち シャしん
キルギスだと思う写真に①

おち シャしん
日本だと思う写真に② をかこう！



おち シャしん
キルギスだと思う写真に①

おち シャしん
日本だと思う写真に② をかこう！



2 写真を見てキルギスと日本を比べてみました。こたえ



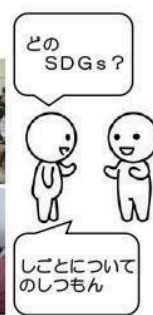
おぼえてますか？ SDGsの目標



この6つの目標で勉強します



3 写真の人へ質問をつくろう。



3 写真の人へ質問をつくろう。

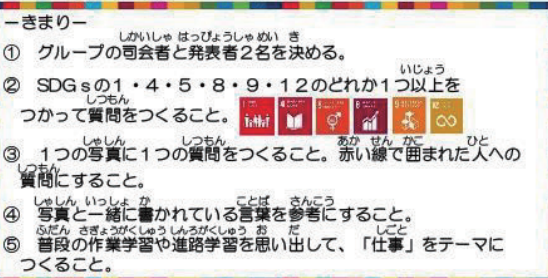


写真1 パズルで働いている人です。

ひつじ うま にく う せいやつ
羊や馬の肉を売って生活をしています。
おお こえ げんき う
とても大きな声で元気いっぱい売っていました。



考えたSDGs
に○を付けよう

質問:

しゃしん しょうがっこう かよ せいと

写真2 小学校に通う生徒です。

べんきょう さんずう す

まいにち がっこう たの

勉強は算数が好きで、毎日の学校が楽しいそうです。



かんが 考えたSDGs に〇を付けよう 質問:	
---	--

しゃしん ちい せち じよせい

写真3 小さな街ではたらく女性たちです。

いなか しごと ずく

まいにち しごと

田舎では仕事が少ないようです。毎日仕事があることを感謝し

ています。みんな真剣に仕事をしていました。

この製品は羊の毛で作られていて、日本では無印良品で販売しています。



かんが 考えたSDGs に〇を付けよう 質問:	
---	--

3時間目

1 グループで選んだ質問を発表しよう。

2 グループで選んだ質問の回答をつくろう。

3 グループでつくった回答を発表しよう。

4 実際にしてきたインタビュー紹介。

5 先生とのまとめ。

2 グループで選んだ質問を発表しよう。



写真1~3から1つ
ずつえらんで
発表してみよう



3 グループで選んだ質問の回答をつくろう。



どのようなことを
こたえるかな?



写真1 パザールで働いている人です。

ひつじ うま にく う

せいめつ

羊や馬の肉を売って生活をしています。

おお こえ げんき

う

とても大きな声で元気いっぱい売っていました。



かんが 考えたSDGs に〇を付けよう 質問:	
かいとう 回答:	

写真2 小学校に通う生徒です。

勉強は算数が好きで、毎日の学校が楽しいそうです。



考えたSDGs に〇を付けよう 質問: 回答:	
--	--

写真3 小さな街ではたらく女性たちです。

田舎では仕事が少ないようです。毎日仕事があることを感謝しているとのこと。みんな真剣に仕事をしていました。



考えたSDGs に〇を付けよう 質問: 回答:	
--	--

4 グループでつくった回答を発表しよう。



発表してみよう

発表者の生徒
おねがいします

5 キルギスでしてきた質問と回答の説明。



質問:

どのような思いで仕事をしていますか?

回答:

毎日、楽しみながら生きるために仕事を
しているよ



5 キルギスでしてきた質問と回答の説明。



質問:

将来はどのような仕事をしたいですか?

回答:

歯科医師かITエンジニアになりたいです。



5 キルギスでしてきた質問と回答の説明。



質問:

買ってくれるお客さんを想像して作ること
はありますか?

回答:

もちろん! 誰が大切に使うかな
と想像して作っています。



6 まとめ

インタビューの回答から考えられることとしては、
 生活・文化は違っていても「（**働く**）」目的
 や姿勢は私たちと（**同じ**）だということです。
 これを（**持続可能**）な社会といいます。



6 まとめ

ただ製品をつくるのではなく、買ってくれる人のこと
 を想って（**丁寧**）につくることは、
 遠くの人でも私たちと（**同じ**）であるとい
 うことが分かりました。

6 まとめ

普段、みなさんが作業学習で製品をつくっている
 ときの考えや想いと（**同じ**）です。日本は想い
 やりの国と言われていますが、日本だけではなく
 さまざまな国の人々が同じ想いで様々な仕事をしている
 のです。

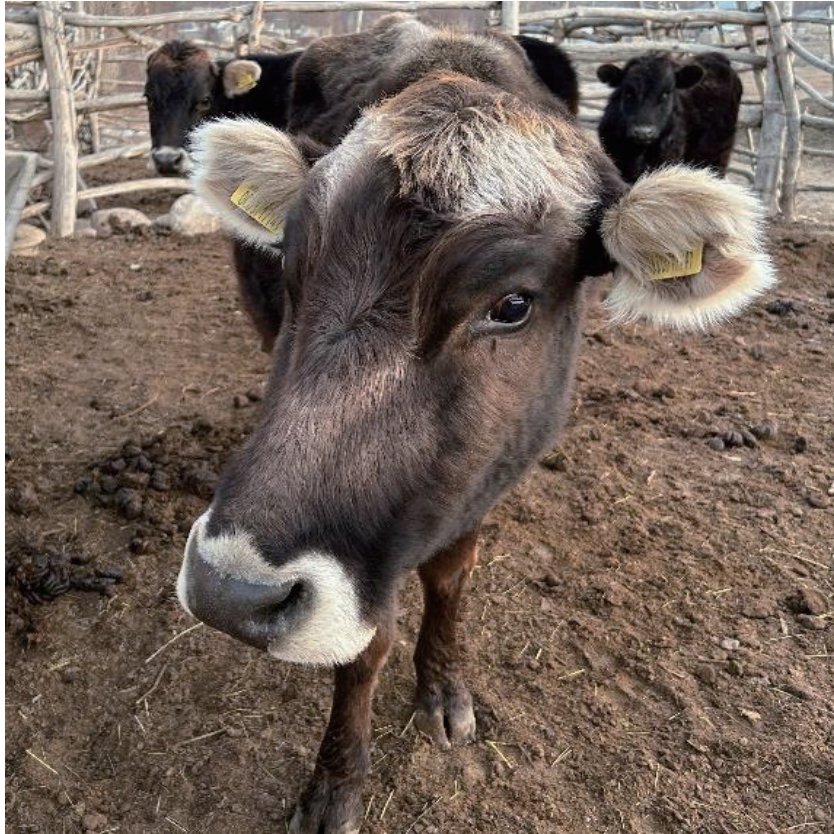
6 まとめ

仕事することは生きる目標にもなり
 （**地域貢献**）にもなっています。
 これからも私たちの住んでいる街が将来にわたって
 元気であるためには、
 みんなが元気に（**仕事**）をすることなのです。



わたしの一枚

タイトル： キルギスの乳牛



写真を撮った場所： クズルトゥー村

キルギスで見た乳牛も日本と同じように両耳に個体識別番号（黄色いタグに 10桁の数字が印字されている）が付けられて管理されていたのが驚きであった。日本では、この番号は生産者、血統、治療歴が分かるトレーサビリティシステムである。キルギスではどこまで管理しているか分からないが、少なくとも安心安全な食肉を消費者へ向けて生産している環境であることが分かった。北海道で飼育されている写真と同じ品種（ブラウン・スイス種）はもう少し体毛が短い個体が多い。キルギスにいた乳牛は冬期間でも外で飼育されている様子であったので、低い気温から身を守るために体毛が長くなっているのではないかと推察する。人間が近づいても驚いたり怒ったりする様子がなかったので、穏やかに大切に飼育されていることが伝わってきた。

氏名： 加瀬 利憲

学校名： 北海道中標津支援学校